

団体交渉報告

平成27年度決算概要について報告。両事業共に順調な成績！

二〇一六年八月八日(月)天神川三階大会議室で団体交渉が開催された。議題に平成二十七年決算概要について報告がされ、自動車運送事業では①一般会計に頼らない「自立した経営」を堅持②一日当たりのお客様数が前年比一万二千二人増の三十五万三千人③経常損益二十四億円の黒字を確保と報告がされた。高速鉄道事業では①一日当たりのお客様数が前年比一万三千人増の三十七万二千二人②開業以来、初の経常損益八億円の黒字が計上されつつも資金不足が三〇九億円。企業債等残高が約三九〇億円にのぼる依然厳しい経営状況が報告された。佐田悟書記長が「両事業共に順調に業績を伸ばし喜ばしいことだが、高速事業の負債の解消を最優先させること。また、「安全・安心・快適」のブランド力の構築を求め、そして、職員とその家族の満足度を上げることを強く求める」とされた。続いて、中谷文明副執行委員長が「自動車事業の十二年黒字は組合員の努力の結果である。一方、高速事業の負債は組合員に一切の責任はない。組合員へ転嫁しないことを求め、今後、結果に見合う対価を求め秋闘に向かう」とされた。最後に瀬戸高志執行委員長が「自動車後、提案する独自要求に対して真摯な回答を求めるとされた後「トラベルアンドレジャー」の評価で京都が六位に下がった。インバウンドの影響は喜ばしい事だが、常に満員のバスや電車の状況。そしてバスの遅延に危機感を覚える。走行環境の向上を市総体で考え、スピーディーな対応を強く求める」とされた。山本耕治管理者が意見や要望に対し真摯に受け止め誠意のある回答に努めるとされ団体交渉が閉会した。



～団体交渉に臨んだ京交執行委員～



発行所 京都交通労働組合
京都市中京区壬生坊城町48
TEL075-841-0948 FAX075-811-3536

定価 一部10円

本紙の購読料は組合費に含まれています

毎月1日発行

発行者 瀬戸高志

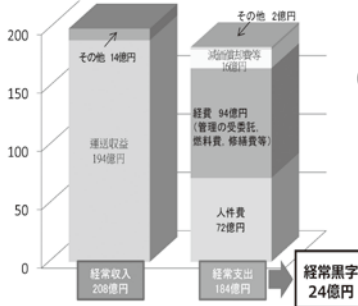
編集者 梅田涼

自動車運送事業

1 決算概要

- 一般会計に頼らない「自立した経営」を堅持
 - ・更なるお客様の利便性向上を図るなど、「攻めの経営」のより一層の推進とともに、「自立した経営」を引き続き堅持
- 1日当たりのお客様数は、前年度比1万2千二人増の35万3千人
 - ・路線・ダイヤの充実等により、前年度決算に比べ、1万2千二人の大幅な増客を実現
 - ・運送収益は、前年度決算に比べ、7億65百万円の増収
- 経常損益は、24億円の黒字を確保
 - ・お客様数の増等により、前年度並みの24億円の経常黒字とし、平成15年度以降連続して黒字を確保
 - ・累積の収支は、34億円の利益剰余金を計上

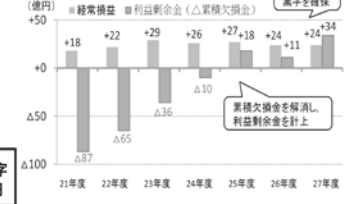
(1) 経常損益の状況



(2) お客様数の推移

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
お客様数(千人)	311	314	314	321	326	341	353
前年度増減数	-	3	0	7	5	15	12

(3) 経常損益及び利益剰余金等の推移



2 主要事項

(1) 便利で快適な路線・ダイヤの編成

- 【28年3月実施の新ダイヤ】
 - ア 地域主体のモビリティ・マネジメントと一体となった路線・ダイヤの拡充
 - イ 京都鉄道博物館が開業する梅小路公園のアクセス強化
 - ウ 京都駅南口駅前広場整備にあわせた路線・ダイヤの充実
- 【20箇所】
 - 地域、事業者等の協力による新たなバス待ち空間「バスの駅」の設置
- 【3】
 - ア 「市バス・地下鉄お客様サービス向上サポート会議」による外部評価を踏まえた、全国一お客様サービスの実践
 - イ 運輸安全管理の取組に基づく安全運行の実施
- 【4】
 - ア IC定期券及びICカードによる乗継割引サービスの整備着手(29年4月サービス開始予定)
 - イ 岩倉、修学院地域の均一運賃区間拡大(28年3月実施)
 - ウ 京都駅前バスターミナル等における「京都市バスおもてなしコンシェルジュ」の配置

(2) 魅力あるバス待ち環境の創出



(3) お客様接遇の向上と安全運行の推進

- ア 「市バス・地下鉄お客様サービス向上サポート会議」による外部評価を踏まえた、全国一お客様サービスの実践
- イ 運輸安全管理の取組に基づく安全運行の実施

(4) お客様サービスの向上

- ア IC定期券及びICカードによる乗継割引サービスの整備着手(29年4月サービス開始予定)
- イ 岩倉、修学院地域の均一運賃区間拡大(28年3月実施)
- ウ 京都駅前バスターミナル等における「京都市バスおもてなしコンシェルジュ」の配置

3 財政状況 (前年度決算からの増減)

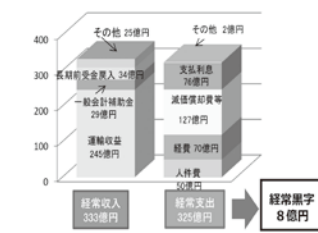
区分	26年度決算		27年度決算		差引増△減
	億	百万円	億	百万円	
営業	196	56	204	07	7
うち運送	186	41	194	06	7
営業外	3	95	3	71	△24
うち一般会計補助金	1	52	1	04	△48
うち長期前受金戻入	2	03	2	16	13
収入計	200	51	207	78	7
営業費用	174	00	181	83	7
うち経常	67	20	68	83	1
うち退職給付引当金繰入額	1	30	3	01	1
うち経費(管理の受委託、燃料費、修繕費等)	92	34	93	76	1
うち減価償却費等	13	16	16	23	3
営業外費用	2	45	2	14	△31
支出計	176	45	183	97	7
差引	24	06	23	81	△25
特別損益	△39	07	0	0	39
再差引(純損益)	△15	01	23	81	38
その他未処分利益剰余金変動額	7	39	0	0	△7
利益剰余金	10	58	34	39	23
収入	18	85	12	58	△6
うち企業債	16	65	10	17	△6
うち補助金	2	20	93	00	△1
支出	34	95	28	04	△6
うち建設改良費	24	60	16	53	△8
うち企業債償還金	8	35	9	51	1
差引	△16	10	△15	46	64
資金剰余額	7	38	29	65	22
年度末企業債残高	60	83	61	49	66

高速鉄道事業

1 決算概要

- 1日当たりのお客様数は、前年度比1万3千人増の37万2千人
 - ・2年連続で1万人を超える大幅な伸びとなり、運輸収益は前年度比10億円の増収
 - ・経営健全化計画に掲げる平成30年度の目標375千人まで残り3千人となり、達成が目前
- 経常損益8億円の黒字
 - ・前年度に比べ17億円収支が改善し、開業年度以来の経常損益の黒字を達成(一般会計からの補助金29億円を含む)
 - ・現金収支の黒字は、過去最大の98億円に拡大(前年度比17億円増)
 - ・経営健全化計画を大きく上回る収支改善
- 全国地下鉄唯一の健全化団体からの脱却へ展望は見えつつも、依然、多額の資金不足(309億円)
 - ・累積資金不足が309億円あるものの、資金不足比率は経営健全化基準の20%を下回る
 - ・平成29年度に、一般会計補助金収入が大きく減少し、再び20%を上回ることが見込まれるため、経営健全化出資金の繰入れ(平成27年度73億円)がなくても安定的に20%を下回る見通しが立つまで、経営健全化団体を継続
- 企業債等残高は、なお約3,900億円にのぼる、依然厳しい経営状況(ピーク時4,922億円(平成20年度))

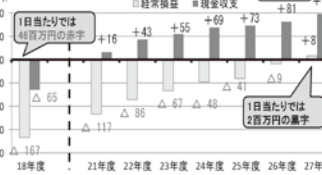
(1) 経常損益の状況



(2) お客様数の推移

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
お客様数(千人)	337	350	354	364	368	372	372
前年度増減数	-	13	4	10	4	4	0

(3) 経常損益等の推移



2 主要事項

(1) お客様増加策

- 【1日当たりお客様数37.2千人！(前年度に比べ1万3千人増)】
 - 「地下鉄5万人増客推進本部」の体制による全庁を挙げた384件のお客様増加策(駅周辺のまちづくりなど)
- 【リニューアル後のローマシアター駅】
 - 「コトチカ御池」の拡充(28年1月)など

(2) 駅ナカビジネスの積極的展開



(3) お客様接遇の向上と安全対策

- ア 「市バス・地下鉄お客様サービス向上サポート会議」による外部評価を踏まえた、全国一お客様サービスの実践
- イ 丸丸輪可動式ホーム橋の設置(27年10月四条駅、12月京都駅の供用開始)



(4) お客様サービスの向上

- ア ICカード利用の環境整備
- イ 外国人観光客を含めたわかりやすい案内など

(5) 一般会計からの支援

- ア 経営健全化対策出資金の受け入れ(73億円)
- イ 経営健全化計画で見込んだ高資本費対策補助金(任意補助)の繰入れ(8億円)を引き続き、見送り
- ウ 経常収入に制度補助金を繰入れ(29億円)

3 財政状況 (前年度決算からの増減)

区分	26年度決算(A)		27年度決算(B)		差引増△減(B-A)
	億	百万円	億	百万円	
営業	258	65	268	97	10
うち運輸	235	51	245	22	9
営業外	61	23	63	70	2
うち一般会計補助金	25	74	29	39	3
うち長期前受金戻入	34	85	33	74	△1
収入計	319	88	332	67	12
営業費用	244	65	246	48	1
うち経常	50	56	50	01	△55
うち退職給付引当金繰入額	1	49	1	41	△1
うち経費(動力費・修繕費等)	66	65	69	55	2
うち減価償却費等	125	95	126	51	56
営業外費用	83	85	77	71	△6
支出計	328	50	324	19	△4
差引	△8	62	8	48	17
現金収支	80	73	97	51	16
特別損益	△36	33	0	0	36
再差引(純損益)	△44	95	8	48	53
その他未処分利益剰余金変動額	404	17	0	0	△404
企業債	△3,108	99	△3,093	22	15
収入	242	22	286	00	43
うち健全化出資金	73	46	72	73	△73
支出	324	10	392	89	68
うち建設改良費	82	44	103	58	21
うち企業債償還金	216	72	264	36	47
差引	△81	88	△106	89	△25
△企業債資金不足	△309	17	△309	18	△1
資金不足比率	14.8%	-	-	-	△14.8%以内
年度末企業債残高	4,066	55	3,910	69	△155



第3回 都市交評研修会報告

確定拠出年金制度及びパートタイマーの社会保険適用拡大について学び、福山哲郎参議院議員による講演が行われた!

二〇一六年七月二十六日(火)ANAクラウンプラザホテル京都、朱雀の間で第三回都市交評研修会が開催され、京交から七十六人が参加した。主催者として瀬戸高志議長(京交執行委員長)が①祇園祭りの対応について②選挙運動について感謝と報告③都市交評について④研修会の内容について述べられた後、新たな制度になる拠出年金制度とパートタイマーの社会保険について学び、そして福山哲郎参議院議員の講演を聞きたいと思う。長丁場であるが研修会が成功裡に終えるようにご協力を願います」と挨拶に立たれた。来賓に自治労京都府本部から谷口富士夫副執行委員長が出席され研修会の成功を祈念された後「世間ではポケモンGOが流行しているが歩きスマホをしている方などに注意して下さい」と挨拶された。その後、講演に入り「確定拠出年金制度と改正」をテーマに講師として税理士法人 和(なごみ)から片岡力(つとむ)さんが①概要について②改正内容③メリット・デメリットについて講演がされた。続いて「パートタイマーの社会保険適用拡大」をテーマに講師として社会保険労務士法人 和(なごみ)から岡野恵美子さんが①適用拡大について②年収一〇六万円の壁について③対象者の対応について講演をされた。次に民進党幹事長代理福山哲郎参議院議員が講師を務められ参議院議員選挙の感謝を述べられた後に①参議院議員選挙を振り返って②東京都知事選挙について③国会についてやマスコミの裏話を含めた講演をされた。参加者はそれぞれの講演を真剣に聞き入り研修会が終了した。その後、懇親会へと移り意見交換を行い第三回都市交評研修会が閉会された。



講演をされた福山哲郎参議院議員



挨拶に立たれた瀬戸高志議長(京交執行委員長)

被爆71周年原水爆禁止世界大会に参加して

二〇一六年八月四日(木)から六日(土)まで「被爆七十一周年原水爆禁止世界大会」が広島大会に京交から伴野敏之副執行委員長と堂下直也電車副部長が参加しました。一日目は、全員で平和公園から県立総合体育館まで「折鶴平和行進」を行いました。この行進は、四・九「反核燃の日」青森行動、五・一五沖繩行動を起点とした全国で取組まれた「非核平和行進」が八月四日に平和公園に到着し、各都道府県・各団体の代表全員がこの行進に合流して、旗のぼり・プラカード・横断幕を持って参加したものです。広島県立総合体育館到着後、大アリーナを利用して約三〇〇〇人規模で開会総会が開かれました。一分間の黙とうの後、川野浩一大会実行委員長から主催挨拶として、オバマ米大統領が五月に現役大統領として初めて広島を訪れた意義と、安倍政府の原子力政策への危機感が述べられました。その後、被爆者の訴えや、福島からの報告、海外からの来賓者が核の怖さと廃絶を訴えました。最後に、「原爆を許すまじ」を合唱し閉会の挨拶となりました。二日目は、広島県民文化センターで行われた「見て、聞いて、学ぼうヒロシマ」分科会に参加しました。初めに「君たちはゲンバクを見たか」という、原爆が投下される状況や、投下直後の生々しい映像が上映されました。当時の軍事通信に携わっていた女学生は「広島島の街が一瞬でなくなりまし

た」と報告されたそうです。強烈な「熱線」「爆風」「放射線」が放たれ、その年の内に、約十万人の方が亡くなりました。原爆の悲惨さが訴えられ、唯一

の被爆国としての日本が核兵器廃絶を世界で広めていく必要性を痛感しました。最終日は、前日と同じ広島県民文化センターでまとめ集会が行われました。一分間の黙とうの後、主催者挨拶があり、特別報告へと移りました。辺野古新基地の建設問題と伊方原発再稼働問題が報告され、「核と人類は共存できない」「核絶対否定」を訴え、将来にわたって核も戦争もない平和な社会をめざすよう発言されました。最後に「原爆を許すまじ」を合唱し三日間の日程は終了しました。今回初めて原水爆禁止世界大会に参加し、初めて原爆ドームも見るこ

とが出来ました。戦争反対と核廃絶を改めて考えた時、例え他国に干渉されようとも軍隊は持たないのか。核燃料施設を完全に断ち切るのか。七十一年前にヒロシマで起きた悲惨な出来事からすれば、何があっても戦争からすれば、何があっても戦争と核はNOが答えになると思

います。しかしながら、経済的・国際的な見解では理想でしかない、政府を中心に新たなステージに移行しようとしています。過激な思想で議論するのでなく、すべての国民が冷静に判断できる環境を整備できる方法はないものかと考えさせられました。

原水爆禁止に参加した伴野副委員長(左)と堂下電車副部長(右)

71年前の状況を残している原爆ドーム

堂下直也 電車副部長

梅田涼 自動車副部長

片山善博氏

2016 京都自治研修会報告

記念講演に片山善博氏を招き研集会が開催された!

二〇一六年八月九日(火)メルパルク京都で自治労京都府本部主催の京都自治研修会が開催された。高橋直樹執行委員長より開会の挨拶があり、参議院選挙のお礼と人事院勧告について述べられた。続いて「削減?創成?考えようよ!地域から...」の幸せ「まちの未来」を基調提案として、中谷文明京都自治研実行委員長(京交副執行委員長)が①自治研活動について②自治体現場の状況③地方における人口減少④自治労としての政策立案・発信力⑤労働組合としての強み⑥地域固有の価値を尊重したまちづくりの推進について説明が行われた。切捨型や特化型の地域創成ではなく、それぞれの地域固有の価値を尊重したまちづくりとなるよう、自治研活動を通じて各単組が情報を共有し、地域を最もよく知る我々の手で創成する必要性が述べられた。次の記念講演では、テレビのコメンテーター又、東京都知事候補として有名な片山善博氏が「真の、地方創成」とこれからの自治体の題目で①地方創成を点検する②真の地方創成には何が必要か③PPPと地域④憲法と地方自治の実践⑤地域の安全と住民の健康について講演された。次に分科会へと移行し、各単組からの取組が報告された。京交からは、梅田涼自動車副部長が「公営交通存続のために、全国一のお客様サービス」を目指して!」をテーマに①公共交通の簡単な歴史②地域公共交通の在り方について③モビリティマネジメントについて④公共交通を取り巻く状況⑤経営健全化の取組み⑥京交エ

ンパワメント活動について説明し、公営交通存続のために取り組んでいることの報告を行った。助言として新川達郎同志社大学政策学部教授が「全国的に公営交通が厳しい中、京都市は頑張っておられる。採算が厳しい路線と、市民サービスの両立をMMで可能にし労使一体となって全国一を目標にしているのは素晴らしい」と評価を受けた。最後に、新川教授から分科会の総評と労働組合の社会的役割の重要性について総括があり、京都自治研研修会が閉会した。



報告を行った梅田涼自動車副部長



挨拶講演をされた片山善博氏



基調提案をされた中谷文明京都自治研実行委員長(京交副執行委員長)

堂下直也 電車副部長

地下鉄35周年記念イベント エンパワメント活動報告

☆電車部☆

●烏丸線乗務支部●

二〇一六年七月三〇日(土) 地下鉄開業三十五周年及び国立京都国際会館五〇周年記念祭で支部役員を中心としてエンパワメント活動を行いました。現役運転士のアドバースのもと、トレインシミュレーター運転士体験をして頂くという活動を実施しました。当日は受付時間前から多くのお客様にお集まり頂き受付開始早々、全時間帯の予約が終了するという大盛況ぶりでした。今回は実物の一〇系車両の運転台を使用したのトレインシミュレーターで、ご参加頂いたお客様には大変満足して頂くことができました。そして運転士体験を通して、電車の運転の難しさというものをご理解して頂き、多くのお客様に乗務員に対しての労いのお言葉をかけて頂きました。今後もこのような乗務員とお客様が交流できる取り組みに烏丸線乗務支部として積極的に取り組んでいきたいと思っております。



～烏丸線乗務支部～

●東西線乗務支部●

二〇一六年七月三〇日(土) 国際会館イベントホールで開催された「地下鉄開業三十五周年・国立京都国際会館開館五〇周年記念祭」に参加しました。私達は、イベントの一つである、東西線トレインシミュレーターに現役運転士として、イベントに参加されたお客様に運転を指導させて頂きました。親子で参加される方が多く和やかな雰囲気の中で行われました。運転台に座ったお客様のキラキラ輝く目を見て、鉄道運転士が憧れの職業であるという事を改めて実感しました。今後も日々の業務をより引き締めて遂行し、いつまでも愛される地下鉄を守って行きたいと思っております。



～シミュレーター体験～



～エンパワメント活動した電車部～

☆自動車部☆

西賀茂支部及び

烏丸支部が参加！ 市バス車両で乗車体験と 車いす体験を行った！

二〇一六年七月三〇日(土) 国際会館イベントホール会場で地下鉄三十五周年記念イベントに西賀茂支部と烏丸支部が市バス車両を使って乗車体験や車いす体験などのエンパワメント活動を行いました。西賀茂からは今年度で廃車が予定されているハッピーバスを持ち込み烏丸からは京ちゃんバスのブルーライナーを持ち込みました。会場には六千人余りが訪れ活気に溢れていました。市バスのブースは三〇度を超える屋外でしたが、子供さんを中心に多くの家族が展示車両に乗りこみ運転席に座ったり、帽子を被つての記念撮影を楽しまれました。また、国土交通省が企画した車いす体験では、車いすに乗りやすに乗りやすにまでを体験されました。このよ



～乗車体験を行った烏丸支部～

うな活動を行うことにより「安全・安心・快適」な京都市バスのPRができました。



～門川市長と一緒に～

熊本地震災害 ボランティアに参加して



二〇一六年
五月二十四日
(火)から三十
一日(火)まで
熊本地震災害



二〇一六年
六月十八日
(土)から二十
四日(土)まで
熊本地震災害

ボランティアに参加してきました。現地では地震の恐ろしさを、まざまざと見せつけられました。私は熊本市内での家屋調査活動を行いました。熊本市民の方々は前向きな方が多く、逆に励まされる場面もありました。あらためて自然に対する恐怖の念を知ることになり、自身も備えをしておくにはいけないと思いました。

大野 滋久 技術管理課
宅野 雅博 係長

青年女性委員会 清掃活動報告

二〇一六年七月二十九日(金) 十七時より四条通りの大宮から祇園間の歩道とバス停の清掃活動を行いました。瀬戸高志執行委員長が「暑い中大変ですが、熱中症に気をつけて頑張ってください。」と激励の挨拶を頂き、作業に取り掛かりました。当日は気温が高く、厳しい暑さの中、四班に別れ、丁寧に清掃活動を行いました。清掃活動中はバス待ちのお客様や周りの方から励ましの言葉を頂き、また観光に

これら外国のお客様にバスの乗り方や観光地の行き方を尋ねられ「親切・丁寧」に対応し、交通局のイメージアップに貢献出来ました。参加者からは、「いつもと違う形でお客様と接することが出来ました。今後の乗務に生かしたいと思います。」という感想がありました。今後も積極的な活動を行いたいとおもいます。ご協力をお願いします。

青年女性委員長 安田 稔



…バス停を丁寧に拭きあげた…



…参加者全員で…

烏丸線乗務支部レクレーション報告



～参加者全員で～

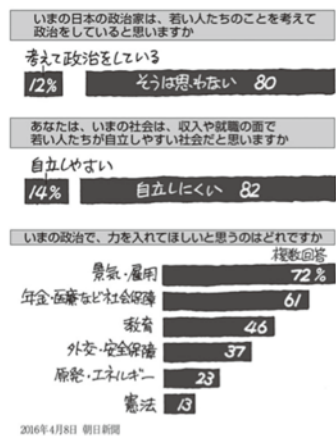
二〇一六年八月十六日(火) 烏丸線乗務支部では、レクレーション活動として、組合員の交流を深める目的としてボーリング大会及び懇親会を実施しました。ボーリング大会では、想像を超える白熱した展開となり、大いに盛り上がりました。その後、開催された懇親会では、田中徹支部長が組合活動の協力に對して感謝の言葉を述べた後「今後も職場を守るために運動を展開させます」と挨拶に立ちました。新人車掌の組合員やベテラン運転士の組合員など様々な人が交流を図り普段見られない一面を見ることができました。そして、より一層の団結力が生まれました。今後もこのような活動をして支部強化に繋げていきたいと考えています。

From みぶ

18、19歳対象に初の世論調査 若者は政治への期待感薄く

参院選を前に18、19歳を対象とした初の世論調査を朝日新聞が行った。

調査では、80%が政治家は若い人のことを考えて政治をしていないと回答し、また82%が自立しにくい社会だと答えている。また政治で力を入れてほしいものでは、「景気・雇用」「社会保障」が上位だった。



これらの結果から読み取れるのは、現状に不公平感をもち、そして政治への期待感は低いということだ。次の選挙にどう反映されるのだろうか。

ナンプレ

京交716号解答

7	6	4	1	9	2	5	8	3
5	1	2	6	8	3	9	7	4
3	8	9	5	7	4	1	2	6
4	7	1	3	6	8	2	5	9
8	5	6	4	2	9	7	3	1
2	9	3	7	1	5	6	4	8
1	3	5	2	4	6	8	9	7
9	2	7	8	3	1	4	6	5
6	4	8	9	5	7	3	1	2

当選者氏名 (敬称略)
竹井 伸治 (電整支部)
小島 克人 (東西線乗務支部)
田原 望 (本局支部)



		1	7			8	
					8		3
7				3			
1			8			6	
		6				7	
	8				1		4
				9			5
2			6				
	5				3	9	

このナンプレが解けた方は、支部名、コーナー番号、名前、機関紙等をご記入の上、京交本部 教宣部 機関紙編集チームまでお送りください。
締め切りは九月三日(金)必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で!

「ナンプレ」のコーナーです。ちょっと一息!頭のフレッシュシユしてみませんか?左記のマスに全部埋めてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。

脳に刺激を! 超難問? ナンプレ

教宣部員のつぶやき



数年前に味噌作りを初めてから、梅ジュースやゆずジャムも作るようになった。最近では自家製の燻製にチャレンジしています。本日はピククル液(水・塩・砂糖・醤油・ウイスキー・ハーブ・スパイス)を沸騰させて冷ました液体などで濃い目の塩漬けを行い、その後過剰な塩分を洗い流して塩抜きをします。素材の水分量を減らすために乾燥させた後、煙で燻し、最後に外気にさらして熟成させ完成となります。大変手間と時間の掛かる作業で、ペーコンやスモークサーモンになると一週間以上も必要となります。燻製には、冷燻、温燻、熱燻と種類があり、温度が高い方が扱い易く時間も短くて済みます。

そこでお勧めは、ただ単純に燻すだけの燻製風味です。私はカセットコンロで使用できる折畳み式スモーカーを使用しています。フライパンでも、段ボール製の安いものでも大丈夫です。素材はウインナーや干魚、チーズなどを軽く火を通せば食べられるものを、そのまま燻しています。時間も十五分ぐらいで結構です。すぐに食べられます。簡単な作業で、ちよつとひと手間掛けただけで、すごく高級な味になります。チーズとさんまの開きが特にオススメです。病み付きになりました。今後は、やっぱり王道のペーコンにチャレンジしてみたいと思います。自家製の生地とトマトソースからピザが出来たらいいのですが、なかなか時間を取れないのが残念です。次は何を作ろうか考えている時も面白いですし、実際に子供と作って食べるのも楽しいので、今後も色々なものに挑戦していきたいと思えます。また、皆さんにもご紹介出来るよう頑張っていきます。

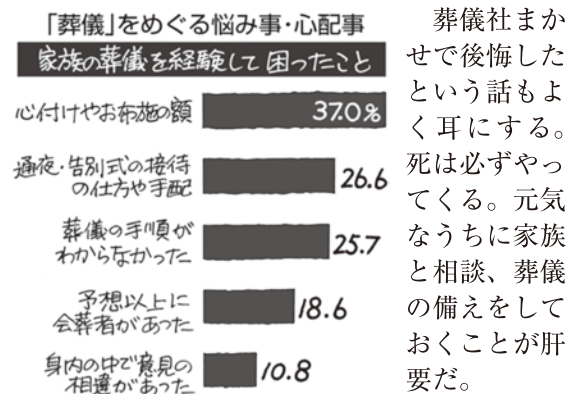
堂下 直也 副教宣部長

From みぶ 2

葬儀で後悔しないために 元氣なうちに家族と相談

知っているようで知らないことの一つに「葬儀に関すること」がある。

だいたい喪主になることなど一生に1度か2度くらいしかないし、葬儀の順番やお布施の額、葬儀費用の相場などを知る機会もほとんどない。だが、家族の死を迎えると、待たなしにさまざまな決断を迫られることに。



葬儀社まで後悔したという話もよく耳にする。死は必ずやってくる。元氣なうちに家族と相談、葬儀の備えしておくことが肝要だ。

人間に近い昆虫は? 近すぎる! 人が近い昆虫は今年最後の眼力で、わたしたちをにらみ付けます。最近では、冷房をほとんど使わない、と言いますが、わが家では、「一日中、ONにしたらどれくらい電気代が掛かる?」と考えるゾクツとする、貧乏性冷房法を採用しています。以前聞いた「クーラー病」なんて、もう死語なんですか? 日射病より熱中症をよく聞くようになりました。他にも夏の病氣は数々ありますが、一番怖いのは日本脳炎でしょうね。保健の先生から、「他の蚊に刺されてもかゆいだけだが、アカイエ蚊とコガタアカイエ蚊に刺されると、日本脳炎になるので気を付けなさい」と言われましたが、昆虫図鑑を見ながら、安心して刺されるわけにはいかないので、怖い思いをしました。最近では、ジカ熱、デング熱と、蚊が媒体となる病氣が増えています。しかし、蚊には、ほんまにイライラさせられます。寝てる耳元でブンブン、自分のホッペをバシッとたたいてもその素早いこと。蚊に咬られていたのと同じです。しばらくすると反対側の耳元でブンブン。昔の人は言いました、「血を分けし、身とは思わず、蚊の憎さ」蚊に刺された痕はみともないものですが、友達とよく数を比べました。あと一つで負けそうな時は、「あつもう一個あつたわ」と、負けず嫌いのせい、首筋をギュー。理科の授業で星座を習った目も、腕の蚊に刺された痕が、あとひとつで北斗七星になる(正確には体中がプラネタリウム状態)。ひしゃくの柄の最後をギュー。友達に見せて、自慢したものです。太古の時代から人間は蚊と戦ってきましたが、蚊取り線香から電子蚊取り器に替わらううちに、千年以上もの隆盛を誇った蚊帳が、すっかり姿を消してしまいました。もう博物館で見えないようになりました。昔は青い麻で作ったんやそうですが、ナイロンの蚊帳なら僕もよく覚えてます。入ってきた蚊をうちわで追い出したり、雷が鳴ると昼間でも押し入れから引っ張り出したり(蚊帳は家の中心に張るので危険が少なく)、情緒がありましたねえ。昔の人は、お引越しの祝いには、よくポロポロの蚊帳を送ったとか。「こんな蚊がなんぼでも入って来るやないか!」と言われると一言さり、「釣る(鶴)と蚊め(亀)」が入ります。



都夢ちゃんのひとり言

人間に近い昆虫は? 近すぎる!